

(仮訳)

国際科学会議 (ICSU) は、米国政府に

「米国への外国人テロリストの入国から国を守る」大統領令の撤回を要求する

パリ、2017年1月31日 — 国際科学会議 (ICSU) は、多くの国の機関や国際機関とともに、米国政府に対し、7ヵ国の市民が米国に入国することを禁止した「米国への外国人テロリストの入国から国を守る」大統領令の撤回を要求する。

ICSU の見解では、大統領令は、不適切に広範囲に、かつ不公正に特定の国籍を有する人々に適用されており、ICSU が定款で掲げる科学の普遍性に関する原則に反している。ICSU は、また、大統領令が、世界の科学者や科学を学ぶ学生の交流の自由に与える負の影響に対して、そして、それが科学の進歩に負の影響をもたらす、地球上の社会がこの進歩から便益を受けることを妨げることに對して、懸念している。

世界の主要な非政府国際科学組織として、ICSU は、科学が国境を超えた人類共通の取組であり、全ての人々によって共有されるべきものであるとの基準に基づき、科学の普遍性に関する原則を奨励している。ICSU は、着想、データ、研究資料、及び他者の研究についての理解に関する地球規模の交流から科学的な進歩が生じると確信している。

自由で責任のある科学の実践を支持するにあたり、ICSU は、科学とその便益に対する公平なアクセス機会を奨励し、民族的出自、宗教、国籍、言語、政治あるいはその他の思想、性別、ジェンダー・アイデンティティ、性的指向、障がいや年齢等の要因に基づく差別に反対する。ICSU は、我々の世界における複雑な課題は、国際的な対話、協力、及び着想や研究成果の共有と交流を通じてのみ解決することができると確信している。

ICSU の定款第5条は、「科学の普遍性 (自由と責任) に関する原則: 自由で責任ある科学の実践は、科学の進歩と人類及び環境の福祉の基礎である。係る実践は、全ての側面において、科学者の移動、結社、表現、及び通信の自由、並びにデータ、情報、及び研究のためのその他のリソースへの公平なアクセスを、必要とする。このことは、科学研究の便益とそれがもたらしうる弊害を認識しつつ、健全性、敬意、公平性、信頼性、透明性を伴って科学研究に取り組み、それを伝えていく責任を、全てのレベルで求めるものである。」と定めている。

国際科学会議 (ICSU) について

国際科学会議 (ICSU) は、国別学術団体 (142ヵ国を代表する 122 の加盟機関) と国際学術連合 (31 の加盟機関) の地球規模での加盟から成る非政府組織である。ICSU は、社会の便益のために国際的な科学研究を強化すべく、国際科学者コミュニティの知識とリソースを動員している。